

インターバンクの声（2017 年 8 月 8 日）

週明けの外国為替市場には、前週末の良好な米雇用統計の発表後のドル買いに戻るべきか、その後のドル売りの流れを継続させるべきかの選択肢があったが、東京市場も海外市場も小動きのままの相場が続いた。ニューヨーク時間に伝わったブロード・セントルイス地区連銀総裁の「物価は大きく上昇する公算は小さく、当面は金利を現行水準に据え置くことが出来る」との発言にも市場の反応は小さく、週後半の米卸売物価指数や米消費者物価指数の発表まで動きがないのかも知れない。

米雇用統計は予想されていたよりも強い内容で、9月のバランスシート縮小開始には十分な確証を得られたかも知れないが、賃金が増加したといってもインフレを大幅に上昇させる程ではなく、年内の追加利上げ観測を再び高めるには至っていない。今日の東京時間も、中国の7月の貿易収支の内容で豪ドルが動くかどうかを判断するくらいしか材料がなさそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。